

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2020年3月3日

所属学部／研究科・学科／専攻	文学部文学科
留学先国	ドイツ連邦共和国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ハインリヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ 現地言語: ドイツ語・英語
留学期間	2019年10月～2020年3月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	現代日本学部(Modernes Japan) <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2020年2月6日
明治大学卒業予定年	2021年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:10月～3月 2学期:4月～9月 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	
創立年	

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	0	0円	ゼメスターチケットという学生証に300ユーロかかりました。
宿舍費	305/月	約38,000円	(125円/1ユーロ)
食費	80/月	約10,000円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	固定でかかる費用はありませんでした。
携帯・インターネット費	約11/月	1,375円	ALDI talk という携帯会社を利用しました。
現地交通費	0	0円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	100/月	12,500円	旅行の有無によって変わると思います。
被服費	0	0円	
医療費	0	0円	
保険費	106/月	13,250円	形態:
渡航旅費	1,600	約20万円	
ビザ申請費	56	7,000円	
雑費	10/月	1,250円	
その他	0	0円	
その他	0	0円	
<b>合計</b>	約4,100	約512,500円	

<b>渡航関連</b>	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地:	羽田空港 目的地: フランクフルト国際空港 経由地:
復路 出発地:	フランクフルト国際空港 目的地: 羽田空港 経由地:
<b>渡航費用</b>	
①往復チケットを購入した場合 航空会社: ANA 航空 料金: 約 20 万円	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: _____ 料金: _____ 復路 航空会社: _____ 料金: _____ ∴合計: _____	
<b>航空券購入方法</b>	
<input checked="" type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: H.I.S) <input type="checkbox"/> インターネット(サイト名: _____) <input type="checkbox"/> その他( _____ )	
<b>滞在形態関連</b>	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: studierendenwerk Duesseldorf) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン( <input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
現地大学からの斡旋	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
基本的な設備は備わっているので、暮らしに関して不安はないです。	
<b>現地情報</b>	
1)留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所: _____)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等: _____)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?	
在留届を提出すると領事館から危機管理情報が送られてくるので、それを参考にしました。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
寮で Wi-Fi を利用する場合は自分で無線ランの機械を購入する必要がありました。ドイツ国内の Wi-Fi 環境は日本とあまり変わらず、スターバックスなどのカフェでは接続できますが、あまり電波は強くありませんでした。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
現地では銀行口座は開設しませんでした。一度に多めに日本の口座からお金を引き出していました。旅行の際はクレジットカードを使用しました。	
6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。	
デュッセルドルフは基本的になんでも揃えられます。タピオカも流行っています。自分の愛用の物のみ持っていけば大丈夫だと思います。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	
渡航前に現地大学指定の銀行口座に振り込みました。7月上旬が期限でした。	

### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他( ) ・履修の制限はありましたか？ 特になし。	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Mittelstufe deutsch B1.1	中級ドイツ語 B1.1
科目設置学部・研究科	International Office
履修期間	1 学期間
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 2 回
担当教授	ヤンセン教授
授業内容	留学生向けのドイツ語 B1.1 レベル
試験・課題など	期末に筆記試験
感想を自由記入	ドイツ語の基本から学ぶことができる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Phonetik Mittelstufe B1	発音 B1
科目設置学部・研究科	International Office
履修期間	1 学期間
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回
担当教授	ブレンデル教授
授業内容	発音の授業
試験・課題など	期末試験
感想を自由記入	日本人が苦手な発音も指摘してくれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Schreibtraining B1		作文 B1	
科目設置学部・研究科	International Office		
履修期間	1 学期間		
単位数	4		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ゼミ形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	ヤンセン教授		
授業内容	授業内でその日のテーマに関して学生同士で意見交換をし、その授業内容をもとに宿題として作文を作成するという流れだった。授業中に作文をするというわけではなかった。 作文の書き方やよくある間違いなどは指摘してもらえる。		
試験・課題など	最終回であるテーマについて作文を書いて提出する。		
感想を自由記入	周りのレベルが高くなっていくので精一杯だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Sexuelle Minderheiten in japanischen Schulen		日本の小中学校における性的少数派	
科目設置学部・研究科	Modernes Japan		
履修期間	1 学期間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	小林先生		
授業内容	日本の学校において、LGBT についてどのように教育していくかや、男女の相互理解・協力などの性教育に関する講義		
試験・課題など	私の場合、プレゼンテーションで単位を認めてもらえました。		
感想を自由記入	日本の性教育に関して改めて知れるとともに、現地の大学生が性教育や日本の男女の社会的役割などについてどのようにとらえているのか知ることができる。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Japanese employment system and human resource management		日本の労働システムと人材管理	
科目設置学部・研究科	Modernes japan		
履修期間	1 学期間		
単位数	2		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 90 分が 1 回		
担当教授	コーラッド先生		
授業内容	日本の労働環境に関する講義。過労死やパワハラ、長時間労働などの日本の働き方の問題点を中心に学んだ。		
試験・課題など	試験もしくはレポート		
感想を自由記入	日本の労働問題について外国の視点から学ぶことができるので、改めて日本とドイツの労働の仕方の違いや問題点が理解できる。併せて自分が働いた時のことも考える良い機会となる。		

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)

就職    進学    未定    その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など

特になし。

3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。

エネルギー業界

4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学中も就活情報サイトを随時チェックしたり, 現地に駐在員として来ている社会人の方にお話を伺うなどその時できることに取り組むのが良いと思います。

また出発前にインターンシップやOB訪問をしてできる限り情報を集めておくと, 帰国後もスムーズに就活に行こうできると思います。

5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート
---------------

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2018年 1月～3月	語学学習のみ。この時期ではまだ正式な留学手続きはしていなかった。
4月～7月	授業の予習、復習のみ。
8月～9月	明治大学が開催している夏期講習に参加した。
10月～12月	留学願書の提出及び面接試験。
2019年 1月～3月	明治大学から現地の大学への推薦が決定。
4月～7月	留学先大学への入学手続きと学生寮への申し込み。航空券の確保。ビザは現地で取得できるので、日本で必ずしも取得しなくてもよい。
8月～9月	渡欧
10月～12月	現地での住民登録やビザ申請、履修登録、保険への加入。語学はクラス分けテストを受験し、振り分けられる。
2020年 1月～3月	1月末から2月上旬にかけてテストやレポートの提出が求められる。帰国前には住民登録の解除と保険の解約、現地大学からはプログラムの終了証明( exmatrikulieren)を行う必要がある。
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記(任意)

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

本やネット上に載っている情報が果たして本当かどうか、偏見や思い込みで勘違いしていることはないかといった、現地では確かめることのできないことがたくさんあります。ですので今留学を検討中の方はぜひ勇気を持ってチャレンジしてほしいと思います。

どの地域、大学に行ったとしても、これまでにない経験ができますし、逆に語学はどこ地域でもきたえることができます。もし専門分野についてより深く学びたいという方はその専門分野に強い大学を目指してみてください。

留学生活を通じて一番厄介だったのは入学手続きや住民登録、ビザ申請といった事務手続きでした。もちろん授業についていくことも厳しかったですが、徐々に楽しみも増えてきますので、授業に関しては心配しなくても大丈夫だと思います。

もし手続きや授業に関して不安なことがあればいつでも可能な限りお手伝いさせていただきますので、事務室を通じてご連絡ください。

これから留学されるかたも検討中の方もみなさんが良い大学生活を過ごせるよう願っています。